

# 筑波大学理療科教員養成施設紀要

## 第1巻 第1号

### 教育 研究 臨床

平成27年12月

筑波大学理療科教員養成施設  
Acupuncture and Physical Therapy  
Teacher Training School

筑波大学理療科教員養成施設紀要  
平成27年12月25日発行 第1巻・第1号

## 目次

### 【巻頭言】

筑波大学理療科教員養成施設紀要 創刊にあたって  
宮本俊和…………… 1

### 【原 著】

低周波鍼通電刺激が腓腹筋部深部温度に及ぼす影響  
—筋収縮の大きさの違いによる検討—  
徳竹忠司、溝淵基嘉、各務友也、岸成人、鈴木芳弘  
橘寛子、長谷部一成、原田美由貴、宮田敏広…………… 5

視覚特別支援学校(盲学校)理療科における大規模地震対策の現状に関する  
調査研究(第1報)  
岡愛子、生出大祐、清正穂寿美、松田智一、渡辺順子  
佐藤卓弥、徳竹忠司、濱田淳、和田恒彦、宮本俊和…………… 11

セルフマッサージが高齢者の膝痛およびQOLに及ぼす影響  
上原寛法、小橋川義兆、田畑杏梨、三栖寛晋、佐藤卓弥  
徳竹忠司、濱田淳、和田恒彦、宮本俊和…………… 19

### 【総 説】

低周波鍼通電療法における治療目的と通電周波数について  
徳竹忠司、小林智子、西村博志、松江泰寛…………… 29

### 【症例報告】

難治性と思われるHunt症候群に対する低周波鍼通電療法の1症例  
矢野学文…………… 33

### 【活動報告】

筑波大学理療科教員養成施設活動報告(平成26年)…………… 39

編集規定・執筆規定…………… 45

編集後記…………… 48

## 筑波大学理療科教員養成施設紀要

平成27年12月25日発行 第1巻・第1号

## 目 次

## 【巻頭言】

筑波大学理療科教員養成施設紀要 創刊にあたって

宮本俊和…………… 1

## 【原 著】

低周波鍼通電刺激が腓腹筋部深部温度に及ぼす影響

—筋収縮の大きさの違いによる検討—

徳竹忠司、溝淵基嘉、各務友也、岸成人、鈴木芳弘

橘寛子、長谷部一成、原田美由貴、宮田敏広…………… 5

視覚特別支援学校(盲学校)理療科における大規模地震対策の現状に関する  
調査研究 (第1報)

岡愛子、生出大祐、清正穂寿美、松田智一、渡辺順子

佐藤卓弥、徳竹忠司、濱田淳、和田恒彦、宮本俊和…………… 11

セルフマッサージが高齢者の膝痛およびQOLに及ぼす影響

上原寛法、小橋川義兆、田畑杏梨、三栖寛晋、佐藤卓弥

徳竹忠司、濱田淳、和田恒彦、宮本俊和…………… 19

## 【総 説】

低周波鍼通電療法における治療目的と通電周波数について

徳竹忠司、小林智子、西村博志、松江泰寛…………… 29

## 【症例報告】

難治性と思われるHunt症候群に対する低周波鍼通電療法の1症例

矢野学文…………… 33

## 【活動報告】

筑波大学理療科教員養成施設活動報告 (平成26年)

…………… 39

編集規定・執筆規定

…………… 45

編集後記

徳竹忠司…………… 48

# 筑波大学理療科教員養成施設紀要 編集規定

(2015年11月17日)

1. 筑波大学理療科教員養成施設（以下「理療科」）は教育・研究に係わる雑誌を発行する。  
雑誌の名称は「筑波大学理療科教員養成施設紀要」（以下「紀要」）とする。
2. 本誌は理療の教育・研究・臨床に関する価値ある論文で、国内外の他雑誌に掲載されていない、或いは現在投稿中でない論文を掲載する。
3. 本誌は原則として、年1回発行する。
4. 紀要掲載文の区分は以下の通りとする。
  - 1) 原著論文（査読有り）
    - (1) 理療教育、視覚障害教育に関する研究論文
    - (2) あん摩マッサージ指圧、鍼、灸(以下「あはき」)を含む物理療法に関する基礎研究及び臨床研究論文
  - 2) 総説
    - (1) 視覚障害教育の主張及びあはき基礎・臨床研究・レビュー
  - 3) 報告
    - (1) 理療及び視覚障害教育実践報告
    - (2) あはき症例報告
    - (3) 理療臨床部活動報告
    - (4) その他
  - 4) 資料
    - (1) 卒業生進路状況
    - (2) 求人、就職状況
    - (3) その他
5. 投稿文章は別に定める執筆規定に従い執筆する。
6. 紀要の編集及び投稿論文の審査をするために紀要編集委員会をおく。しかし論文の内容により外部に査読を依頼することがある。論文の採否は、原則として本会が決定する。
7. 投稿文章の筆頭者は、理療科に関わりがあると本会が認めた者とする。
8. 著作権は本会に帰属する。
9. 原稿は原則として返却しない。

# 筑波大学理療科教員養成施設紀要 執筆規定

(2015年11月17日)

## 1. 原稿の構成

原稿の区分に限らず本文は10,000字以内（英文原著では4,500語以内）、和文抄録は500字以内、英文抄録は300語以内、キーワードは5個以内、引用文献は30以内、写真・図・表は計10個以内とする。

原稿は和文または英文とする。

### 1) 原著論文

(1) 表紙（論文タイトル、著者名、所属機関名）、抄録、キーワード（3～5）、本文、倫理委員会による承認に関する記載、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付すこと。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …で記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付すこと。

### 2) 原著論文以外

(1) 表紙（タイトル、著者名、所属機関名）、キーワード、本文、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付すこと。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …で記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付すこと。

## 2. 用紙・書式

1) 用紙はA4サイズで横書きとすること。原稿はワープロまたはパソコンを用い、12ポイントで、本文は40文字×40行で作成のこと。

2) 項目の階層は以下の通りとする。

I, II, III…, 1, 2, 3…, 1), 2), 3)…, (1), (2), (3)…, ①, ②, ③…, a, b, c…, (a), (b), (c)…

## 3. 用語・単位

1) 和文は、口語体、当用漢字、新かなづかい、ひらがなまじりを用い、句読点・かっちは1字を要す。外国語、外国人名、地名、機器名は原語のまま用いる。ただし一般に日本語化している外国語はカタカナを用いてもよい。

2) 度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, μg, mg, g, kgと記す。

3) 年号は西暦とする。

4) 数字はアラビア数字を用いる。

5) 数字・英字は全て半角とする。

## 4. 文献

文献は引用文献に限定し、表記は以下の通りとする。

### 1) 雑誌中の論文の場合

引用番号（本文中の引用順とする）著者名（著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする）：論文タイトル（副題も含め全て記載する）。掲載誌名（正式略名とする）、巻（号）；起始頁 - 最終頁、発行年（西暦で記載する）。

例) 1) 宮本俊和, 和田恒彦, 白木仁：身体調整の運動と意義—鍼灸・マッサージと運動の科学—。体育の科学, 61(10)；752-758, 2011.

2) Naruto Yoshida, Naoyuki Kobayashi, Akihiko Masunari, et al. Changes in the muscle reaction time of ankle periarticular muscles by balance training. J Phys Fitness Sports Med. 2 (4); 493-500, 2013.

### 2) 書籍の場合

引用番号（本文中の引用順とする）著者名（著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする）：表題。書名。編者名（編者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする）。版数。発行者（社）。発行地。起始頁 - 最終頁、発行年（西暦で記載する）。

例) 徳竹忠司：理療と倫理, 医療と社会。盲学校理療科用図書編纂委員会編。改訂第4版。医道の日本社。東京。105-119。2013

### 3) 電子文献の場合

上記の印刷媒体の引用方法に従ったうえ、URLおよび参照日付を記載する。

### 4) 私信、未刊行物、投稿中の文献の場合

リストに入れず、本文中で説明するか、または脚注として示す。ただし、印刷中のものは文献欄に上記の引用方法で記載し、末尾に（印刷中、英文の場合はin press）と記載する。

## 5. 提出物の仕様

### 1) 投稿表（本紀要の巻末に付録）

(1) 筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

(2) 年月日・タイトル・筆頭執筆者名・筆頭執筆者連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）

### 2) 印刷物（2部）

「1. 原稿の構成」に従い作成した印刷物

### 3) データ

「1. 原稿の構成」に従い作成したデータCD。文章はワード形式、図・表はパワーポイント形式で保存する。

## 6. 原稿送付先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学理療科教員養成施設内  
紀要編集委員会（担当：徳竹忠司）

TEL：03-3942-6303

FAX：03-3942-6335

E-mail：tokutaketadashi@icloud.com

---

## 編集後記

当施設の初代施設長を勤め、筑波大学名誉教授でもある故 芹澤勝助先生は、大正4年のお生まれであります。本年でご生誕100年を迎えたことになり、そのような記念すべき年に、紀要第1巻1号が発刊されるという偶然が重なりました。

芹澤先生は鍼・灸・手技療法の科学的研究を推進され、医学的観点に立った鍼灸手技療法の臨床・研究の礎を作られました。当然、視覚障害教育にも尽力をされました。

現在の理療科教員養成施設で実践している教育・研究・臨床は、まさに芹澤先生のお考えを踏襲しているものであると思います。

科学技術の進歩は日々めざましく、鍼灸手技療法の研究にも最新の機能を有した機器や評価法が導入されるようになり、視覚障害教育の場にもICT機器が導入され始めました。便利な道具を使えることは、とてもありがたいことです。しかし、本来の目的を忘れてしまうと宝の持ち腐れとなります。

先人の志は、時代が変わっても引き継がれるべきであるとは限りませんが、当施設の長い歴史の中には普遍的なものがあるように思います。それを言葉にすることは難しいのですが、本紀要に掲載される著作を通して、今後当施設での教育・研究・臨床に携わる人々のためになることができる紀要編纂であることを望みます。

編集委員会 徳竹忠司

---

### 筑波大学理療科教員養成施設紀要 第1巻1号

平成27年12月25日発行

編集 筑波大学理療科教員養成施設紀要編集委員会  
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1  
TEL : 03-3942-6303 FAX : 03-3942-6335

発行 筑波大学理療科教員養成施設

印刷 株式会社洋文社

# 投 稿 表

筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

平成 年 月 日 提出

原稿のタイトル： \_\_\_\_\_

原稿の種類： 原著 ・ 総説 ・ 報告 ・ その他 \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

筆頭執筆者 氏 名： \_\_\_\_\_

筆頭執筆者 連絡先： (住所) \_\_\_\_\_

(電話番号) \_\_\_\_\_

(E-mail) \_\_\_\_\_

キ  
リ  
ト  
リ

紀要編集委員会記入欄	
受付年月日	平成 年 月 日
受付番号	

キ リ ト リ

**投稿控え** (以下に上記と同内容を投稿者が記入)

原稿のタイトル： \_\_\_\_\_

原稿の種類： 原著 ・ 総説 ・ 報告 ・ その他 \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

筆頭執筆者 氏 名： \_\_\_\_\_ 殿

紀要編集委員会記入欄	
受付年月日	平成 年 月 日
受付番号	